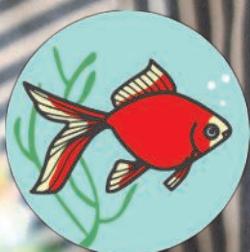


TONARI

2013夏号

グッドネーバーズ・ジャパン会報



目次

P2 海外事業

- ・グアテマラ地震緊急支援【続編】
- ・バングラデシュ水＆衛生環境改善プロジェクト

P3

- ・ヨナスクールから広がる希望
- ・ルワンダに給水施設

P4 東日本事業

- ・三陸の高校生、インドネシアをゆく

P5

- ・「アートセラピー」心の変化

P6 支援×文化

- ・異文化に触れる～イベント報告～
- ・チャドに滞在したスタッフより
- ・お祭り特集

P7

- ・1000いいね！で1000の白い歯キャンペーン

P8 お知らせ

グッドネーバーズ 活動地域MAP



海外事業

緊急支援

グアテマラ地震緊急支援【続報】



支援物資を活用して建てられた家



※受益者の方のインタビューの様子
をYouTube、HPから視聴できます。
是非ご覧ください！

2012年11月7日（日本時間8日）、中米グアテマラでM7.2の大地震が発生しました。グッドネーバーズ・ジャパンは緊急支援のため、ジャパン・プラットフォームの助成を受け、特に深刻な被害を受けたサンマルコス県で被災家屋補修物資等配布事業を実施しました。今回は、復興へ向け前進している現地の状況についてご紹介します。

資材を受け取った人々は、クリスマス休暇中に、各自またはコミュニティ内で協力し家屋の修理をしました。中には家が倒壊したにもかかわらず、政府の支援を受けることのできない方もおり、緊急支援の重要性を再確認しました。

配布から数週間後、スタッフは配布した資材が有效地に使われているかを確認するため、受益者のもとを再び訪れました。被災した家屋は、元の家の資材を追加したり、配布された資材のみを使用したりして、近隣住民により建て直されています。

サンマルコス県では、病院や学校も被害を受けました。街全体が元通りに戻るにはまだ時間がかかります。しかし、自分の住居を手にした人々の笑顔からは復興への希望が感じられました。

【YouTube】

youtu.be/eIUEeEvd7D4

コミュニティ
開発

バングラデシュ、水＆衛生環境改善プロジェクト

バングラデシュ北部、インドとの国境に近いタクルガオンは、首都ダッカから車で8時間以上かかる農村地域です。この地域は経済、教育、住民の栄養面で多くの課題を抱えており、中でも水と衛生の問題は深刻です。水道設備がないため遠くの井戸まで水を汲みに行くか、池や川の水を使うしか方法はありません。不衛生なトイレが点在していることもあり、腹痛や下痢に苦しむ子どもや、コレラなど水を媒体とする病気に感染してしまう子どもが少なくありませんでした。



袋の布で覆われた以前のトイレ



設置されたトイレ

今回、ある日本のサポーター様のご理解、ご支援によりこの地域に新しい井戸とトイレを設置する「水＆衛生環境改善プロジェクト」が実現しました。新しく井戸を設置する際に懸念されるのが、その井戸から出る水の成分です。特にバングラデシュでは、井戸水に含まれるヒ素が、身体に害を与えることが知られています。水質検査の結果、この地域の水サンプルに含まれるヒ素などの有害成分の量は基準値を大きく下回り、約3ヶ月かけて井戸20基とトイレ64基が完成しました。1つのプロジェクトで全てを解決することはできませんが、今回のように日本の方からのご理解、ご協力が少しずつ、確実に子ども達の笑顔につながるよう支援していきます。

ヨナスクールから広がる希望

「12歳までは学校を見たことすらなかった。学校に行くために引っ越す友達が羨ましかった。ご飯を炊いて、水を汲んで・・・そういうことをしながら一日を過ごしていました。」（ケンソちゃん15歳）

「学校に通えるようになって初めて鉛筆を持ち、絵の才能があることが分かった。画家になりたいという夢ができた。」（ヒセン君 18歳）

学校に通えるようになった子ども達に新たな夢が生まれています。チャドはアフリカの国々の中でも教育の普及が遅れており、小学校の中退率が72%にのぼる地域もあります。学校の不足だけでなく、大人の教育に対する理解不足も原因で、教育の必要性の認識が課題です。2012年に完成したヨナスクールは、（故）パク・ヨンハ広報大使がチャドでボランティア活動したことをきっかけに、日本や韓国の皆様から寄せられたご寄付で建設された小学校です。その後、パク・ヨンハさんの意志を継いだ歌手イ・スンチョルさんにより、リヤンドチャドスクールも建てられました。



ヨナスクールの近くには、新たに20軒以上の家ができ、開校当時は200人余りだった生徒は、現在は758人に上っています。また学校と関連した雇用が増え、自治会もつくられるなど、学校を中心として地域に良い変化が生まれています。グッドネーバーズでは、この小学校建設プロジェクトをHOPE SCHOOL（希望の学校）と名付け、チャドだけではなく、世界中の必要とされる地域で事業を進めています。

第3、第4のヨナスクール

首都のンジャメナから約60Km離れたアリガルガ地域には、仮設で作られた学校がいくつかあり、400人以上の生徒が通っています。地域住民が力を合わせてこれらを建設し先生を雇いましたが、環境は劣悪です。そこで2013年3月、同地域でチャドの三つ目のHOPE SCHOOLの工事が始まりました。地域住民約100名は4つのグループに分けられ、去年の10月から2万個以上の煉瓦を準備しました。第3、第4のヨナスクールがもたらす今後の変化をご期待ください。

ルワンダに給水施設

東アフリカに位置する内陸国ルワンダ。ルワンダは1年の内8カ月が雨季のため降雨量は豊富ですが、これを活用できるインフラが整えられていないため、綺麗な水はいつも不足しています。

ルワンダ人口の1%であるトゥワ族という少数民族は歴史的に差別を受け、現在も公共サービス等の様々な面で不平等な扱いを受けています。カギナ地区に暮らすトゥワ族のコミュニティには他地区では設置されている給水施設が整備されておらず、子ども達は不衛生な水の飲用と衛生知識の不足により、約80%が消化器感染症、約20%が寄生虫症を患っています。

グッドネーバーズ・ジャパンは、チャリティーラン※による助成の下、ルンダ郡カギナ地区の4カ所で給水施設を建設しました。さらに住民の衛生観念の向上を目的とし、トレーニングを受けた10名の保健師たちが、各担当地域で住民を対象とした衛生指導を行いました。今後はグッドネーバーズ・ルワンダが住民組織による管理委員会に指導を行い、施設の長期的存続のため、管理体制を整備します。



給水施設と水を汲む住民



保健師トレーニングの様子

※チャリティーランとはワールドランナーズ・ジャパン様が実施するランニング大会です。参加費の一部がグローバルフェスタに参加しているNGOへの寄付金になります。

東日本本事業

復興支援

三陸の高校生、インドネシアをゆく

2011年3月11日、東日本を襲った未曾有の大震災は子どもたちの生活にも多大な影響を及ぼしました。震災から2年以上経った今も尚、多くの子ども達が仮設校舎、仮設住宅での生活を余儀なくされています。このような状況の中、震災を機に自分の住む地域や自身の将来について真剣に考えるようになった子ども達も多くいて、故郷を復興させるにはどうすればいいか、自分に何ができるのかを大人たちと同様に真剣に考え始めています。

グッドネーバーズ・ジャパンは次世代を担う人材育成支援のため、岩手県の高校生を対象に2013年3月16日から27日までインドネシア・スマトラ沖地震（2004年）の被災地アチェ州にて、復興の様子を視察する研修を実施しました。

被災地視察、津波ミュージアム見学、現地の高校生との交流を通して、故郷の復興を探った高校生たちの研修後の宣言を抜粋してご紹介します。

復興のイメージがより具体的に



山田高校1年五十嵐真帆

〈前略〉本研修で最も印象に残ったことは「津波ミュージアム」での体験です。津波の状況を実際に体験し、映像や写真、模型なども見ました。遺体が写っているものも展示されており衝撃を受けたのと同時に、津波の恐ろしさを改めて実感しました。また館長さんの「アチェにいる人は元気、生活は元に戻り未来に向けて頑張っている。」というメッセージが印象に残っています。「被災地の観光地化」について行ったディベートでは、自分にはなかった考えを聞くことができ、勉強になりました。「次世代に残したい」という賛成の意見、「被災者の気持ちを第一に」という反対の意見。どちらにも共感できるし、答えのない難しい議題でした。このディベートでは自分の町の未来について真剣に考えができるようになりました。インドネシア研修に参加したことで、今まで抽象的だった「復興」へのイメージが、具体的に考えられるようになりました。私たちの復興への取り組みのスタートはここからです。私はまず、この研修で学んだことを人に伝えていきたいと思います。

まずは自分が！



山田高校3年藤原果奈

事前研修を行い、私は町の風景が変わることが復興だと考えていた。しかしインドネシアに行き、復興についての考え方を変えることができた。印象的だった言葉はアハマッドさん（注：現地通訳）に言われた「まずは自分が成長しないと、他人のことは言えない。」という言葉。私はこの言葉で自分が先に考え、実行していかなければならないということを実感した。また、町の人人が元気で幸せになるためにも、自分から幸せにならなければいけないということを考えた。

そこで私が考える復興とは、震災前の自分より幸せになることだと確信した。その幸せとは、人の役に立つこと。そのため、私は今自分に出来ることを考え実行している。〈中略〉私たちは今高校生で、高校生だから出来ること、高校生にしか出来ないことはまだまだたくさんあると思う。この町を離れる前に町のために一生懸命活動したい。



16名の研修生たち

・3/16～3/27のインドネシア研修のひとコマ

被災者の方からの話を聞く

スマトラ島沖地震で大きな被害を受けたムラボという地域で、津波で一度に9人の家族が流されたという被災者の方から話を聞きました。「絶対に自然災害を恐れないで。でも準備は怠らないで欲しい。」との言葉に研修生は胸を打たれました。



お話ししてくださいましたイラさん

復興への答えを探る

研修中、何度も復興に関しての意見交換を行いました。そこで研修生達がまず気がついたのは「復興への考え方皆バラバラだ」という事でした。復興への想いは同じなのに、考え方やアプローチの仕方が違う。研修生達は何度も議論を重ね、自分なりの答えを見つけ出そうとしました。



ディベートの様子

異文化を知る

研修生達は2泊3日で現地の家庭にホームステイをしました。それぞれの家庭で心のこもったインドネシア式のおもてなしを体験した研修生達はインドネシア式トイレも手桶での水浴びも皆初体験。「私、インドネシアに住みたい！」と言う声も聞こえた程、研修生達にとってとても心に残る一時になったようです。



ホームステイの様子

復興支援

「アートセラピー」心の変化

グッドネーバーズ・ジャパンが2012年7月から行っているアートセラピープロジェクト。子ども達の作品から、いくつかのステップを経て心の状態の変化を見てすることができます。

[第1段階・感情の解放]

地震や津波などで強烈なストレスに直面した子ども達にアートセラピーを実施すると、不安や恐怖など、言葉にならない感情を吐き出すために、絵具や粘土をぐちゃぐちゃにする傾向があります。



①単色の色使いが多い第1段階

[第2段階・自分と向き合う]

アートセラピーを実施して半年ほどを目標に、子どもたちの作品にカラフルなものや今までよりも緻密な表現が現れます。ストレスを吐き出し、しっかりと自分と向き合えることができ、落ち着きを取り戻し始めていることが伺えます。



②よりカラフルな第2段階

[第3段階・より心が安定し始める]

第2段階からさらに半年後を目標に、子どもたちの作品はより緻密さを増していきます。子ども達に心の安定が戻ることで、作品が具体的になり、子どもたちが今まで以上に自分と向き合うことができるようになります。



③緻密さを増した第3段階

（写真提供：東日本支援チーム・アートdeセラピー）

支援×文化

国名は知っていても、どんな国かは意外と知らないものですよね。グッドネーバーズの活動と共にその国の文化も紹介します。各国の独自の魅力に触れてみてください！

レポート

異文化に触れる～イベント報告～



現地スタッフとSkype中

支援を身近に★サポーター交流会

2013年3月10日に、日頃からご支援していただいている皆様をグッドネーバーズ・ジャパン事務所にお招きし、サポーター様同士やスタッフとの交流ができる場として交流会を実施しました。交流会では活動報告のほか、バングラデシュの現地スタッフとSkype中継で話を聞いたり、中東・南アジアで魔除けや縁起物、おしゃれとして使用されるヘナタトゥーの体験で、支援国をより身近に感じていただきました。

アフリカンフェスタ

2013年5月11日、12日に横浜赤レンガ倉庫で開催された「アフリカンフェスタ2013」に参加しました。二日間の開催中にはたくさんの方に足を運んでいただきました。グッズの売り上げと募金額の合計69,765円は、グッドネーバーズ・ジャパンが開発途上国で行う子どもの教育支援や岩手県で行う震災復興支援に使わせていただきます。



会場はさながらアフリカ！



各国で違うコーヒースタイル

異国の香り？～コーヒー飲み比べ～

2013年5月17日、グッドネーバーズ・ジャパン事務所にて、ベトナム・グアテマラ・エチオピアのコーヒー飲み比べ＆各国活動報告を行いました。10名の参加者はその国で愛されているコーヒーの飲み方を体験しながら、現地で実施された緊急支援や地域開発支援の報告を聞き、積極的に質問もされていました。今後も特色ある文化を紹介しながら、支援について知っていただける企画を設けたいと思います。

文化紹介

チャドに滞在したスタッフより



お祭り特集

夏の夜、太鼓の音と盆踊りの声にワクワクしたことはありませんか？夏といえばお祭りですね！世界にはどんなお祭りがあるのでしょうか？ここでは、日本ではありませんが、お祭りをご紹介します。

▼カンボジア プチュンバン

プチュンバンは、陰暦10月末日に行われるお祭りです。仏教徒のカンボジア人にとっては重要な宗教行事で、日本のお盆ととても似ています。15日間続くお祭りの間、人々は地元のお寺だけではなく、遠くのお寺まで車に乗り合わせて出かけて、お布施をします。カンボジア人の信仰では、先祖の魂と再会するために、少なくとも7カ所のお寺を回らなければならないとされています。先祖の魂は、プチュンバンの15日の間だけは自由に動き回ることを許されるので、人々は食べ物を供えて準備します。ご先祖様と会うために、このように家族でお寺をお参りするわけです。



カンボジアの世界遺産、アンコールワット

▼タイ ソンクラーン（水掛け祭り）

ソンクラーンは、もともと仏像や仏塔、家族の年長者などの手に水を掛けてお清めをするというお祭りです。また、家の大掃除も行われることがあります。

近年では、ソンクラーンが1年でもっとも暑い時期に行われることなどから、街の往来で通行人どうしが水を掛けあって楽しむ「水掛け祭り」として知られるようになりました。見ず知らずの相手にさえ水を掛け合います。地元のタイ人たちは、あらゆる道具を使って準備万端に水掛け体制に入ります。水の掛け合いには水鉄砲を用いたり、家の前に水の入ったドラム缶を置くあるいは家の前までホースを延長させ、道行く人に水をかけたり、ピックアップトラックの積み荷部分に水の入ったドラム缶を載せ、町中の人々に水をかけまわっている例もあります。また、水を積んだ対向車同士での派手な掛けあいもよく見られます。



タイの国旗の赤・白・青の横じまは、青は国王を、白は宗教を、赤は国家および国民の団結心を表しています。

▼ザンビア クオンボカ祭り

ザンビア共和国の西部に位置している州都モンゴに毎年5万人の人々が集まるロジ族のお祭りです。クオンボカとは、ロジ語で「乾いた土地に引っ越す」という意味です。このお祭りは、川の水量が増える雨季にロジ族の王様が乾季用の宮殿から雨季用の宮殿に引っ越しをすることが由来し、200年以上前から続いています。この移動は王の舟を中心とする大規模な船団を組んで華やかに行われます。ロジ語でお祈りをしたり、太鼓を鳴らしたりと賑やかな雰囲気です。王様の船には、王様のシンボルである象の模型が乗っています。この時期にモンゴに行くと、皆お祭りの衣装である赤いベレー帽子をかぶっています。



クオンボカ祭りでは、赤いベレー帽子を被ります。

お知らせ

1000いいね！で1000の白い歯キャンペーン

1000いいね！で1000の白い歯キャンペーンとは

グッドネーバーズ・ジャパンのフェイスブックページに「いいね！」が1000集まると、バングラデシュのガタイル地域の子ども達約1000人を対象に、歯ブラシセットが届けられ、歯磨き教室プロジェクトが実施されます。

歯磨き教室プロジェクト

1. 医師による歯科衛生講習

なぜ歯磨きをするの？

歯磨き粉を歯ブラシを使う理由

虫歯になったらどうなる？

2. 医師による歯科検診

3. 歯ブラシと歯磨き粉の配布

白い歯って
いいね！



ガタイルの子ども及び住民の歯科衛生

ガタイル地域では、子どもの39%が虫歯にかかっているとされています。歯ブラシを扱っている店へのアクセスも悪く、また住民にこのような日用品を買う余裕もありません。そのため歯ブラシと歯磨き粉を使って歯磨きをする習慣がなく、代わりに木の枝と灰を使って歯磨きをすることもあります。この地域では歯の治療だけではなく、歯磨きの習慣づけや、虫歯の影響など歯科衛生の啓発が必要とされています。

参加方法

フェイスブックで「グッドネーバーズ・ジャパン」を検索!!

グッドネーバーズ・ジャパンのフェイスブックページのいいね！を押すだけです。

※ひとつひとつの記事ではなく、ページそのものに「いいね！」をしてください。

※「いいね！」をするには、フェイスブックアカウントが必要です。

www.facebook.com/gnjapan



編集後記

会報「TONARI」をお読みいただき、ありがとうございました。差別により安全な水が得られない地域がルワンダにあると知り、明日も水が飲めるということの安心感について考えるようになりました。また三陸の高校生が自分の将来と同様に町の将来を考えていることが印象的です。私も同じ世代として、ニーズに合った行動を継続的にしていくつもりです。本誌が昨日まで考えていなかったことについて考えるきっかけになれば幸いです。編集に携わってくださった皆様、ありがとうございました。

編集 市川紗也佳



お問い合わせ・資料請求

[Tel] 03-6423-1768

(平日 10時～18時)

[Email] sup@gnjp.org

②住所変更のご連絡をお願いします！

ご住所やメールアドレスを変更されたサポートー様は、お手数ですが、グッドネーバーズ・ジャパン事務局までお電話、またはメール(左記参照)にてご連絡ください。

子どもサポートー

検索

発行：特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン

〒143-0016 東京都大田区大森北2-14-2大森クリエイトビル3階

[Tel] 03-6423-1768 [Fax] 03-6423-1766 [Email] admin@gnjp.org

[URL] <http://www.gnjp.org> [Facebook] facebook.com/gnjapan [Twitter] @GNJapan